

## 【資料2-2】

### 報告 2) 平成26年度以降の動きについて

1. 龍潭線整備に伴う石牆セットバック (2016.3)
2. 国営首里城公園全園開園及び国営有料区域の県管理 (2019.2)
3. 首里城火災の発生及び被害状況 (2019.10.31)
4. 首里城美術工芸品等管理委員会の提言 (2021.3)

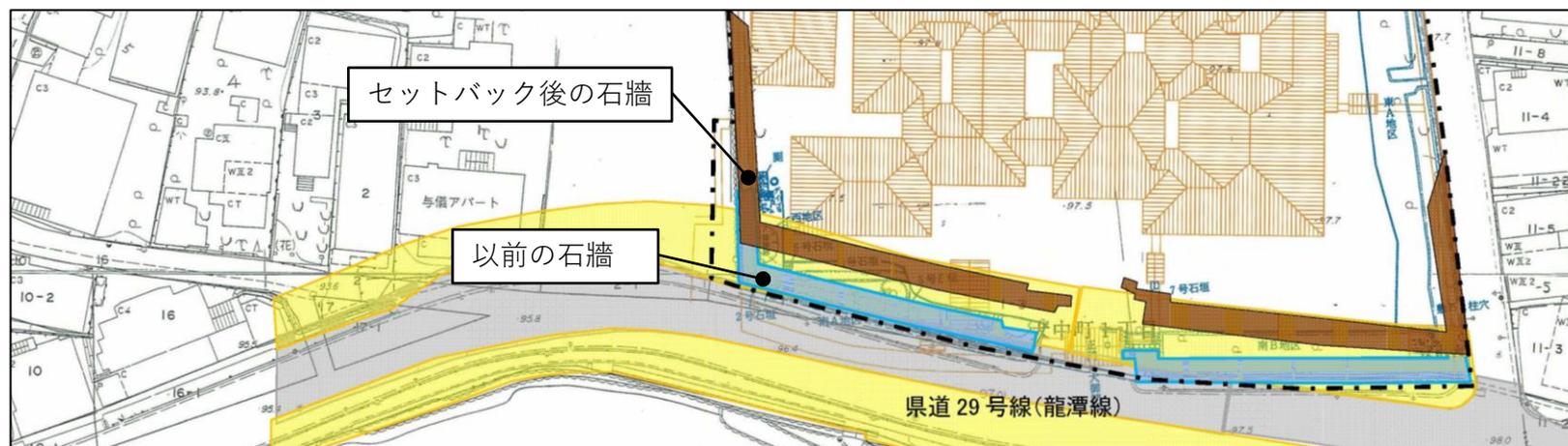
# 1. 龍潭線整備に伴う石牆セットバック (2016.3)

中城御殿敷地前面の龍潭通り（県道29号線）は、2002（平成14）年12月より、那覇市都市景観形成地域（龍潭通り沿線地区）に指定されており、建物高さ・意匠・壁面後退などまちなみ景観の形成に取り組んでいる。

龍潭線整備事業により、景観に配慮した県道の街路事業が進められており、道路拡幅に関連して平成28（2016）年3月には中城御殿跡前面石牆のセットバックが完了した。



中城御殿周辺現況（2021年）



図版出典：「平成23年中城御殿跡地整備検討業務」

## 2. 国営首里城公園全園開園及び国営有料区域の県管理（2019.2）

平成31（2019）年2月1日、国営沖縄記念公園首里城地区が全園開園した。また併せて国営公園区域有料区域については都市公園法上の管理許可を受け、沖縄県が管理することになった。県営公園区域については沖縄県土木建築部、教育庁、那覇市文化課等による整備・管理が行われている。

首里城公園管理区分図

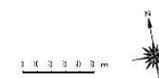


凡例	管理区分
■	沖縄県土木建築部 都市公園課 沖縄県国営沖縄記念公園内施設（首里城地区内施設）
■	沖縄総合事務局
■	沖縄県教育庁文化財課
■	沖縄県教育庁文化財課（未開園部分）
■	沖縄県土木建築部 都市公園課
■	〃 未整備区域
■	那覇市教育委員会

首里城公園の面積

面積	計画面積	開園面積
県営区域	13.1ha	7.21ha
国営区域	4.7ha	4.70ha
合計	17.8ha	11.91ha

※有料区域面積 1.45ha



### 3. 首里城火災の発生及び被害状況（2019.10）

#### ①建物の被害状況と展示・収蔵施設の位置

首里城火災前の城郭内有料区域には正殿を含む11棟の建築物があった。令和元（2019）年10月31日の火災により、正殿、北殿、南殿・番所、書院・鎖之間、黄金御殿・寄満・近習詰所・奥書院、二階御殿の6棟が全焼し、奉神門、女官居室居室の2棟が部分焼となった。展示・収蔵施設は、南殿、黄金御殿、寄満に配置されていた。



出典：「首里城火災に関する再発防止策等報告書」をもとに整理

### 3. 首里城火災の発生及び被害状況（2019.10.31）

#### ②美術工芸品の被災状況

美術工芸品等1,510点のうち、特別収蔵庫で保管していた1,119点の所在を確認し、特別収蔵庫以外で展示・保管していた391点が焼失。特別収蔵庫で保管していた品についても、熱や水による被害を受けている。

- 特に寄満特別収蔵庫（2階）で保管していた漆器類の劣化被害が大きく、20年程度の長期間の修復作業が見込まれる。
- 県指定有形文化財「黒漆菊花鳥虫七宝繫沈金食籠」くろうるしきつかけちゆうちゆうしつぽうつなぎちんきんじきろう「黒漆牡丹七宝繫沈金食籠」くろうるしぼたんしつぽうつなぎちんきんじきろうも被害を受けており修復が必要。
- 被害を受けた美術工芸品の修理の方針や展示室・収蔵庫の課題等について、（一財）沖縄美ら島財団が設置した「首里城美術工芸品等管理委員会」で専門家による提言が出されている（令和3年3月）。

首里城の美術工芸品の被災状況

項目	火災前	火災後		
	総収蔵数	総収蔵数	修理不要数	要修理数
絵画	183	156	150	6
漆器	487	285	4	281
染織	306	302	283	19
書跡	125	106	101	5
陶磁器	127	46	25	21
金工品・その他	282	224	192	32
合計	1,510	1,119	755	364

出典：「首里城美術工芸品等管理委員会報告書」（（一財）沖縄美ら島財団、令和3年3月）

## 4.首里城美術工芸品等管理委員会の提言（2021.3）

（一財）沖縄美ら島財団が設置した「首里城美術工芸品等管理委員会」では、首里城美術工芸品の確実な保存・継承のため、美術工芸品と特別収蔵・展示施設の管理マニュアルを作成している。

また、首里城美術工芸品を管理する立場から、今後整備される特別収蔵・展示施設に対する必要条件を「美術工芸品特別収蔵・展示施設に関する提言」として示している。

### 美術工芸品特別収蔵・展示施設に関する提言

#### （1）特別収蔵・展示施設の計画・整備の検討

##### ①施設の配置計画等

首里城公園内における特別収蔵・展示施設については、文化庁のガイドライン等や、国および県の首里城関連委員会等で示されている方針等に基づき、計画・整備されることが望ましい。

##### ②施設の建物仕様

###### ●特別展示室

課題	求められる主な内容
建物仕様	構造：耐火・耐震構造、主要構造物は鉄筋コンクリート造（もしくは鉄筋コンクリートブロック造）
	材質：間仕切戸は特定防火設備、耐火ガラス採用の際は防火措置を検討、もしくはスチールサッシを採用
	内装：壁等には不燃材を使用する
設備	配置：屋外とつながる窓や出入口がある空間や縦穴区画と隣接・近接させない
	配管：通気ダクトは展示ケースとの位置関係を考慮した配管
	消火：室内への二酸化炭素ガス消火設備の設置
	防犯：盗難防止のため機械式防犯機器を効果的に組み合わせる
環境	温湿度・照度：展示ケース内の機密性と適切な温湿度・照度環境の確保、空調方法は最新の方法・機器を採用
	措置：人から出る炭酸ガス等への対応
	遮断・緩衝：展示室外部からの温湿度や紫外線への対策
配置	形態：特別収蔵庫と同一建物内に確保、収蔵庫との移動距離の最短化、展覧区画と保管区画を明確に区分
その他	防虫：虫菌害対策を行うことが望ましい

出典：「首里城美術工芸品等管理委員会報告書概要版」

## 4. 首里城美術工芸品等管理委員会の提言（2021.3）

### ●特別収蔵庫

出典：「首里城美術工芸品等管理委員会報告書概要版」

課題	求められる主な内容
建物仕様	設計：収蔵庫の大きさ確保、経験豊富な業者による設計・施工
	構造：耐火・耐震構造、主要構造物は鉄筋コンクリート造（もしくは鉄筋コンクリートブロック造）
	材質：間仕切戸は特定防火設備、耐火ガラス採用の際は防火措置を検討、もしくはスチールサッシを採用
	内装：外壁との間を二重壁で施工、内壁・天井・床を断熱層・不透湿層で施工、有害ガスを発生しない材の採用
設備	配置：屋外とつながる窓や出入口がある空間や縦穴区画と隣接・近接させない
	配管：耐火性がある天井配管、余裕ある配管の収まり、火災時に消火水が浸入しない計画
	消火：庫内への二酸化炭素ガス消火設備の設置
	出入口：収蔵庫への扉について特定防火設備以上の性能の確保と耐火・防犯性能の高いものの導入
	収納棚：収蔵品を長期間安全に保管できるものとする、地震等による棚の移動・転倒・ねじれ・収蔵品の落下が起きない仕様・形状、棚の下部を床面より20～30cm開ける
	防犯：盗難防止のため機械式防犯機器を効果的に組み合わせる
環境	温湿度・照度：収蔵庫の機密性と適切な温湿度・照度環境の確保、空調方法は有識者の指導・助言に基づく方法・機器を採用
	措置：人から出る炭酸ガス等への対応
	遮断・緩衝：収蔵庫外部からの温湿度や紫外線への対策
配置	形態：できるだけ単独施設として配置、隣接建物との間で十分な延焼防止措置を行う
	階層：特別収蔵庫は原則として地上1階に配置
	床高：湿気や水害を防ぐため収蔵庫床面を地表から十分に離す
附室	修理：収蔵品の修理を行うための修理室を設ける
	活用：調査兼撮影室を設ける
	搬出入：トラックヤードの設置
運用	収納：収蔵品は収蔵庫で保存することを原則とする
その他	防虫：虫菌害対策を行う

### ●その他施設

部屋	課題	求められる主な内容
EV	耐火性確保	材料：縦穴はコンクリートあるいは同等の耐火性能を確保
EPS、PS	他の部屋との共用	設備：日常点検口がある部屋等の共用はやめ独立性を確保